

MORI OKA

SHOOT!!



想定外の決戦

専大北上

VS

盛岡中央

11.4 13:35 盛岡南公園球技場
(当日TVI生中継もあり)

史上7校目の選手権岩手代表は？
そして史上初の私学の岩手王者は？

革命の瞬間を
見逃すな！



いざ決戦！高校サッカー

いろいろと波乱のあった高校サッカー選手権岩手大会もいよいよ決勝戦。
専大北上、盛岡中央ともに強豪校を撃破しての決勝進出、実力校を倒した自分
たちの力を信じ、80分戦おう！

盛岡中央 サイド攻撃に活路

盛岡中央の売りは両サイドからのクロス。中盤の幅下・鈴木（一）がボールを
持てば、佐藤（康）がフォローする展開がベスト。

エース爆発か？専大北上

専大北上はFWの攻撃力で勝負したい。準々決勝でゴールを決めた城澤はもちろん、
齋藤、野中、途中出場で準決勝勝利に貢献した佐藤（恭）に注目。

直撃！盛岡中央 練習風景レポート

盛岡中央高校サッカー部におじゃまして、練習風景を見せてもらいました。決戦を前に、人工芝の上で練習する彼ら。悲願に向けて、士気は高まる。

決勝進出直後、盛岡中央高校のサッカー部におじゃました。

その日チームは人工芝の上で放課後練習を行っていたが、秋濱コーチが特別に記者に見せてあげるということで人工芝の一步手前まで案内された。

ここで秋濱コーチに今回の決勝進出について話をしたが、肝心の要因についてはコーチでさえもわからなかった。

その後秋濱コーチが部員たちを集めてミーティング。具体的なメニューなどはここで話し合われる。

そして部員たちはまず基礎体カトレーニングから始めた。うさぎ跳びで奥のラインから何回も跳んで行き、中間点で後ろに戻るという形。その最中からすでに部員たちは「がんばろうぜ」と檄のような声を出していた。

その後はパス、シュートの実戦練習。人工芝の上での練習だから、県内の他の高校よりは恵まれている気もするが、そこは部外者の言うことではないのだろうね。

決勝戦には準決勝の退場処分で出られない下村キャプテンにも話を聞いた。

「自分は、練習でテンションを上げられるようにしたい」と、出られない自分にできることを力強くアピールした。また、気になるDFの穴については「久保(拓海)君がいるから大丈夫」と不安はないように思えた。

個人的に準決勝で気になった選手はFW 岩田。もう少し勝負どころでの決定力が上がらないと厳しい。中盤はいいだけに…